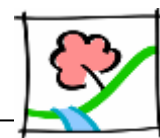


(3) 景観類型ごとの特性と課題

景観類型

丘陵地景観



<景観類型ごとの景観要素> 「斜面林」、「里山」

<特性と課題>

- ・ 起伏に富んだ本市の丘陵地には、山辺を縁取る連続した斜面林や、谷戸田と一体となって四季折々に表情を変える里山など、地形の特徴を際立たせ、季節感あふれる多様な丘陵地景観が広がっています。
- ・ また、しっかりと保全していく山の緑、人の手が入ることで、あるいは生態系が保たれることで維持されていく里山や谷戸田の緑など、丘陵地景観の成り立ちは様々です。
- ・ 一方、ごみの不法投棄や資材の野積み、谷戸田の荒廃、斜面林の緑の連続性を分断する開発など、丘陵地景観と調和しない要因が生じています。

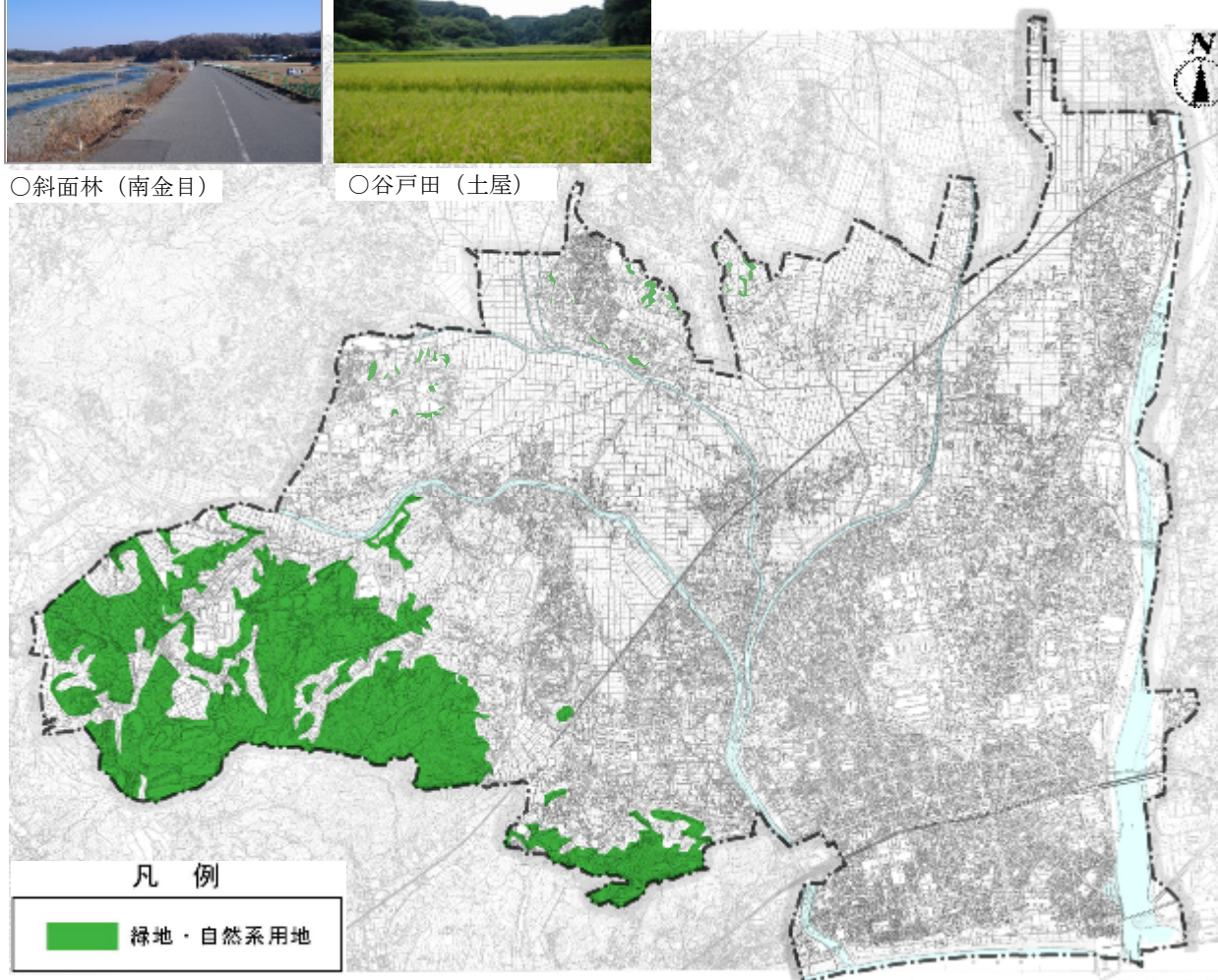
<状況図>



○斜面林（南金目）



○谷戸田（土屋）





<景観類型ごとの景観要素> 「農地」

<特性と課題>

- ・ 北西部には、まとまりある農地と周辺の山並みや斜面林が一体となった、季節感あふれるのびやかな田園景観が広がっています。
- ・ 広々とした田園景観は、県下第一位の生産量を有する水田によって支えられています。また、地域の活動として休耕地を活用した花畑づくりも行われています。
- ・ 一方、農業従事者の減少に伴う休耕地の増加をはじめ、大規模な屋外広告物や資材の野積み、田園の中の鉄塔など、田園景観と調和しない要因が生じています。

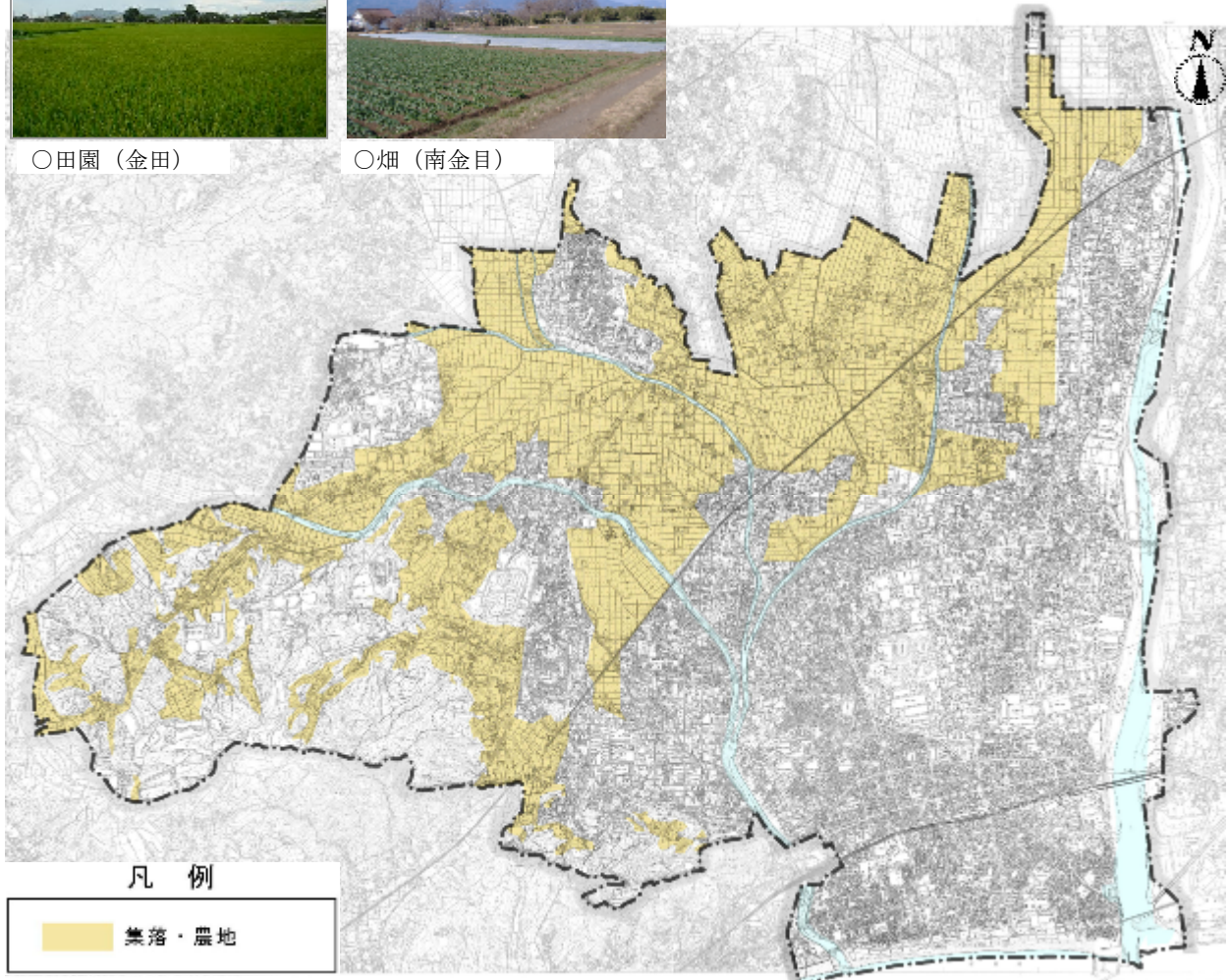
<状況図>



○田園（金田）



○畑（南金目）



景観類型

河川景観



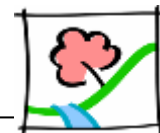
＜景観類型ごとの景観要素＞ 「相模川」、「金目川」、「市街地の中小河川」、「田園の中小河川」、「小川と水路」

＜特性と課題＞

- ・ 本市の東辺を縁取る雄大な相模川、遠くの山並みと調和した金目川、農地や市街地を流れる中小河川など、地形の骨格を際立たせる大小様々な表情を持つ河川景観が、市民の身近に広がっています。
- ・ 河川敷では、スポーツ施設やお花畑、サイクリングロードなどが整備され、市民に親しまれています。
- ・ また、あじさいや桜といった四季を彩る川沿いの植栽など、地域住民が支える水辺景観も特徴的といえます。
- ・ 一方、河川敷へのごみの不法投棄・不法耕作や水の汚れ、コンクリート護岸等による河川改修など、河川本来の姿を阻害する要因が生じています。

＜状況図＞



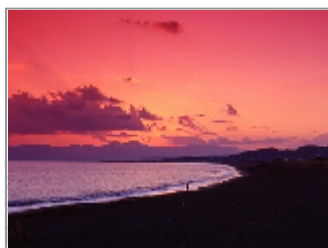


<景観類型ごとの景観要素> 「平塚海岸」、「漁港」、「ビーチパーク」

<特性と課題>

- ・ 平塚海岸は、緑豊かな松林や海浜植物の群生とともに、自然の砂浜が続き、海や空が広がる開放感ある海岸景観が残されています。また、富士山や周辺の山々を背景とした砂浜と松林の風景も特徴的です。
- ・ 四季を通して人々で賑わうビーチパーク、漁業等とレクリエーションとが共存する漁港など、癒しと憩いを感じることのできる多様な海岸景観が広がっています。
- ・ 海岸清掃など、市民の主体的な活動も行われています。
- ・ 一方、平塚海岸の周辺には、周辺景観と調和しないデザインの建築物等も生じています。

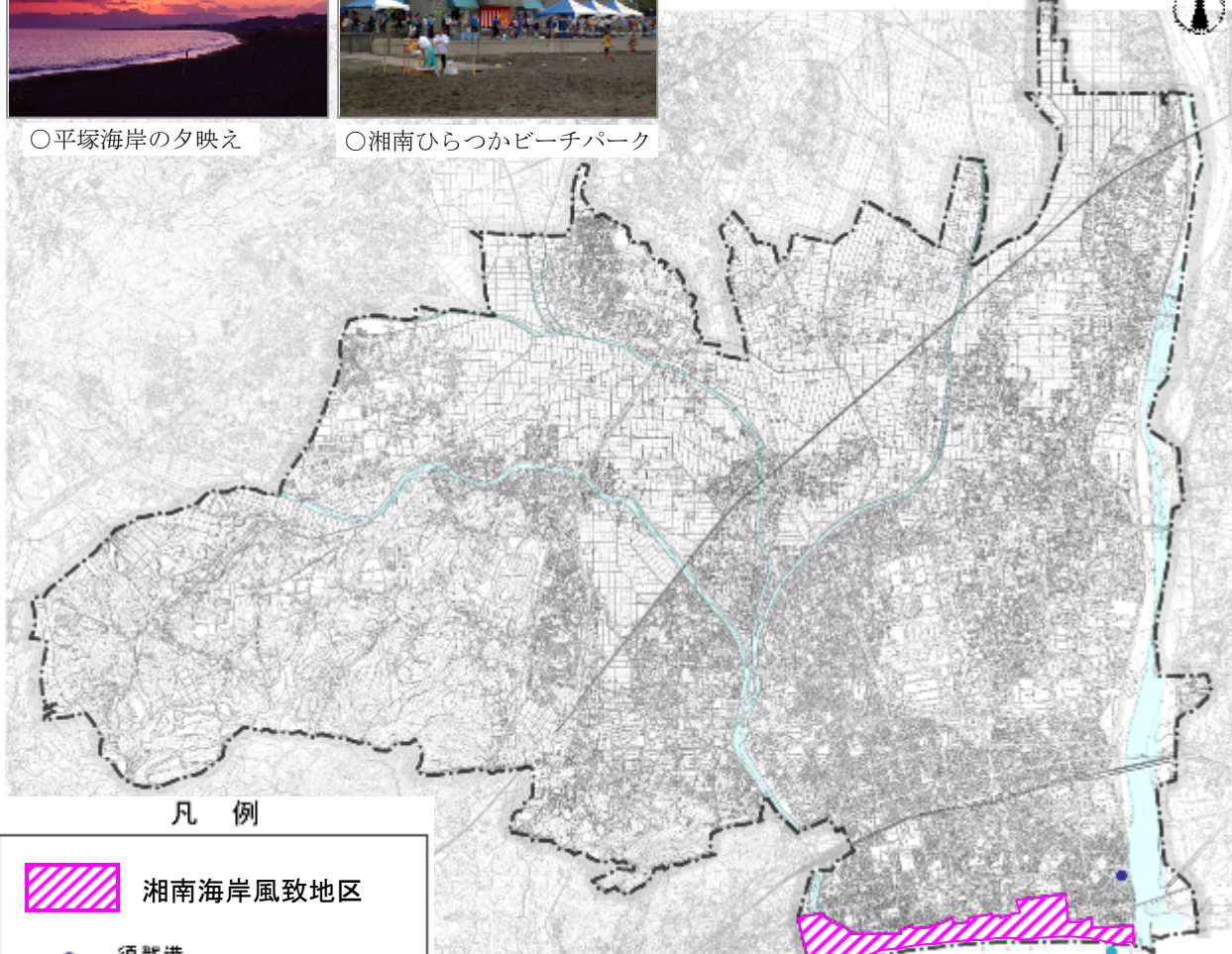
<状況図>



○平塚海岸の夕映え



○湘南ひらつかビーチパーク



凡 例



湘南海岸風致地区



須賀港



平塚漁港（新港）

景観類型

緑の景観



＜景観類型ごとの景観要素＞ 「屋敷林」、「松林」、「並木道」

＜特性と課題＞

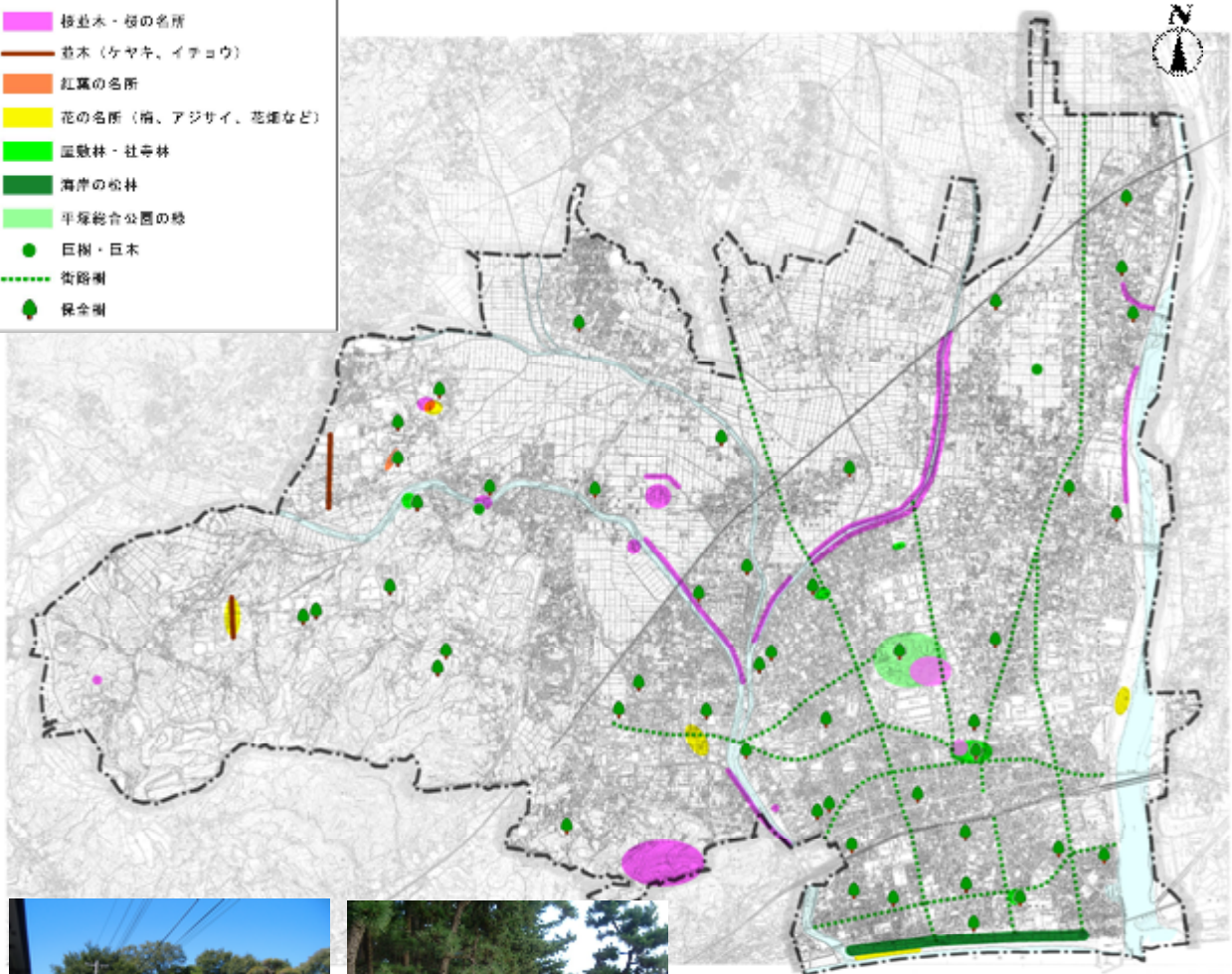
- ・ 社寺の杜、屋敷林や生垣、道すじや川辺に連なる並木など、平塚市内の各所では、四季折々の緑の景観を楽しむことができます。
- ・ 平塚市保全樹等保護事業により保全樹、保全樹林、保全生垣が指定されています。
- ・ こうした四季折々の身近な緑は、現況の良好な状態を将来に引き継ぐよう保全していくとともに、新たな緑を創出していくことが大切です。

＜状況図＞

凡 例

| | |
|--|-------------------|
| | 緑並木・樹の名所 |
| | 並木（ケヤキ、イチョウ） |
| | 紅葉の名所 |
| | 花の名所（桜、アジサイ、花畑など） |
| | 屋敷林・社寺林 |
| | 海岸の松林 |
| | 平塚総合公園の緑 |
| | 巨樹・巨木 |
| | 街路樹 |
| | 保全樹 |

※市民から寄せられた情報と平塚市資料をもとに作図



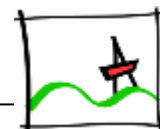
○屋敷林（御殿）



○松林（湘南海岸公園）

景観類型

山々への眺望景観



<景観類型ごとの景観要素> 「高麗山と湘南平への眺望」、「富士山への眺望」、
「大山・丹沢の山並みへの眺望」

<特性と課題>

- ・ 本市では、多様な自然地形の骨格を反映して、高麗山、富士山、大山や丹沢連峰など、市内外の山々への多彩な眺望を楽しむことができます。
- ・ 旧東海道から高麗山への眺望は、歌川広重の東海道五十三次に描かれるなど、古くから親しまれています。また、富士山への眺望は、「平塚市では富士山の見える方角が西」と言われるほど、市民生活に浸透しており、地域ごとに自慢の富士見スポットがあります。
- ・ 一方、田園部に点在する規模の大きい屋外広告物や資材の野積み、丘陵地の開発など、眺望景観と調和しない要因が生じています。

<状況図>

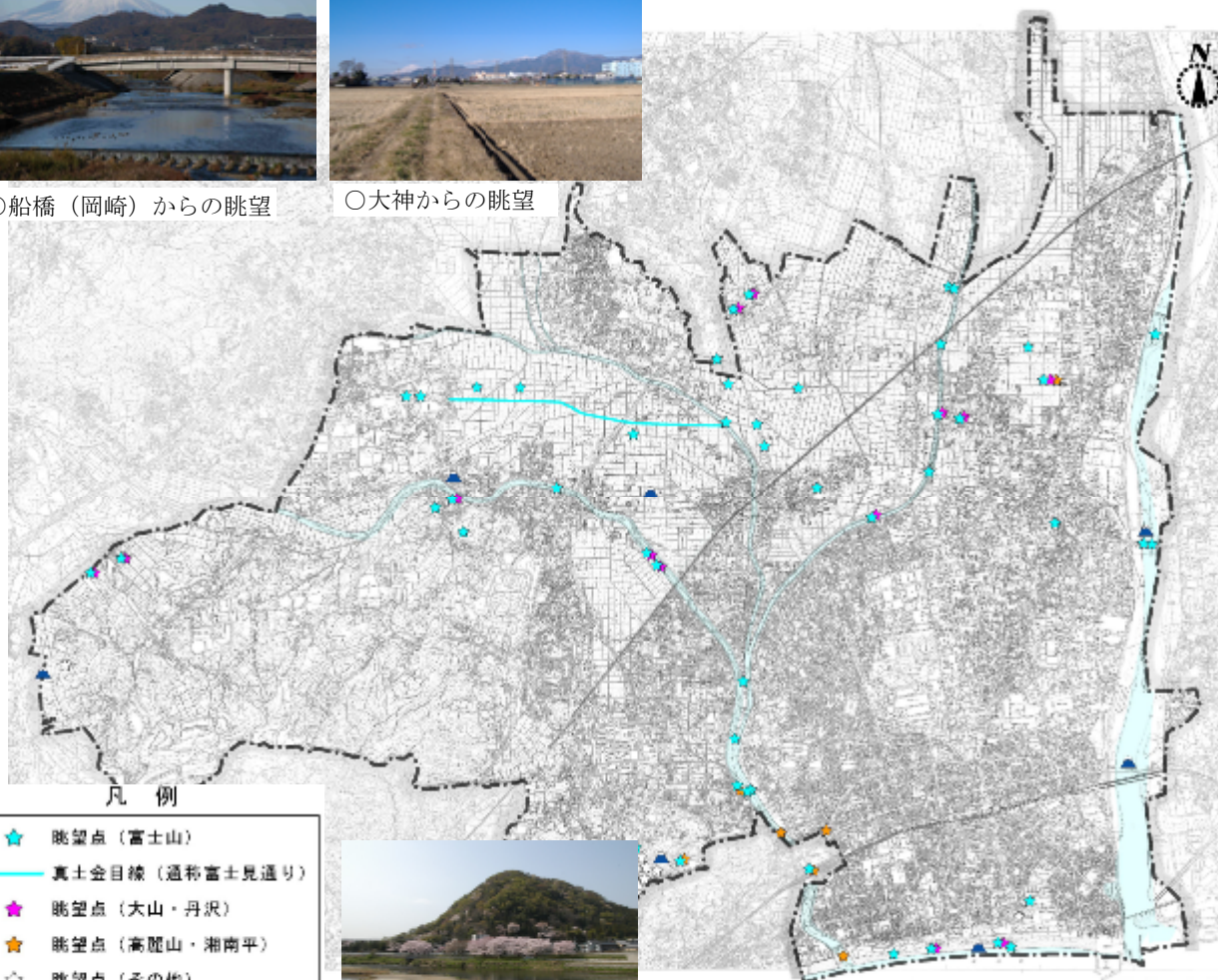
※市民から寄せられた情報と平塚市資料をもとに作図



○船橋（岡崎）からの眺望



○大神からの眺望



凡例

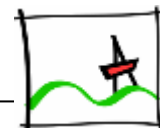
- ★ 眺望点（富士山）
- 真土金目線（通称富士見通り）
- ★ 眺望点（大山・丹沢）
- ★ 眺望点（高麗山・湘南平）
- ☆ 眺望点（その他）
- ▲ 關東の富士見百景



○高麗大橋からの眺望

景観類型

湘南平からの眺望景観



<景観類型ごとの景観要素> 「湘南平からのパノラマ」

<特性と課題>

- ・ 「神奈川の景勝50選」の地である湘南平からの眺望は、三浦・房総半島から伊豆大島、丹沢連峰から富士山や箱根・伊豆の山々まで一望でき、平塚市民だけでなく、平塚市を訪れる多くの人々にも大変親しまれています。
- ・ 海岸線を縁取る光のじゅうたんが横浜・東京方面まで広がる夜景の美しさも、有名です。
- ・ また、湘南平からは、平塚市をとりまく自然地形や都市の成り立ちの特徴も一望することができます。

<状況図>



○展望台からのパノラマ（東方面）



○テレビ塔からのパノラマ（西方面）



○桜の千畳敷



○伊豆大島への眺望

景観類型

平塚市を代表する歴史景観



<景観類型ごとの景観要素> 「東海道と平塚宿」、「大門通りと平塚八幡宮」、
「金目観音堂とその周辺のまちなみ」、「御林と中原御殿」

<特性と課題>

- ・ 市内の各地には、相模国府が置かれた律令時代から現代へと連綿と続く長い歴史の中で、それぞれの時代の名残りを今に伝える貴重な歴史資源が点在しています。
- ・ 特に中原御殿の造営や東海道平塚宿の開宿は、現在の平塚市の成り立ちに大きな影響を与えています。
- ・ 市内に残された貴重な歴史資源を保全・活用していくことが、地域の特徴ある景観形成を進める上で重要です。

<状況図>



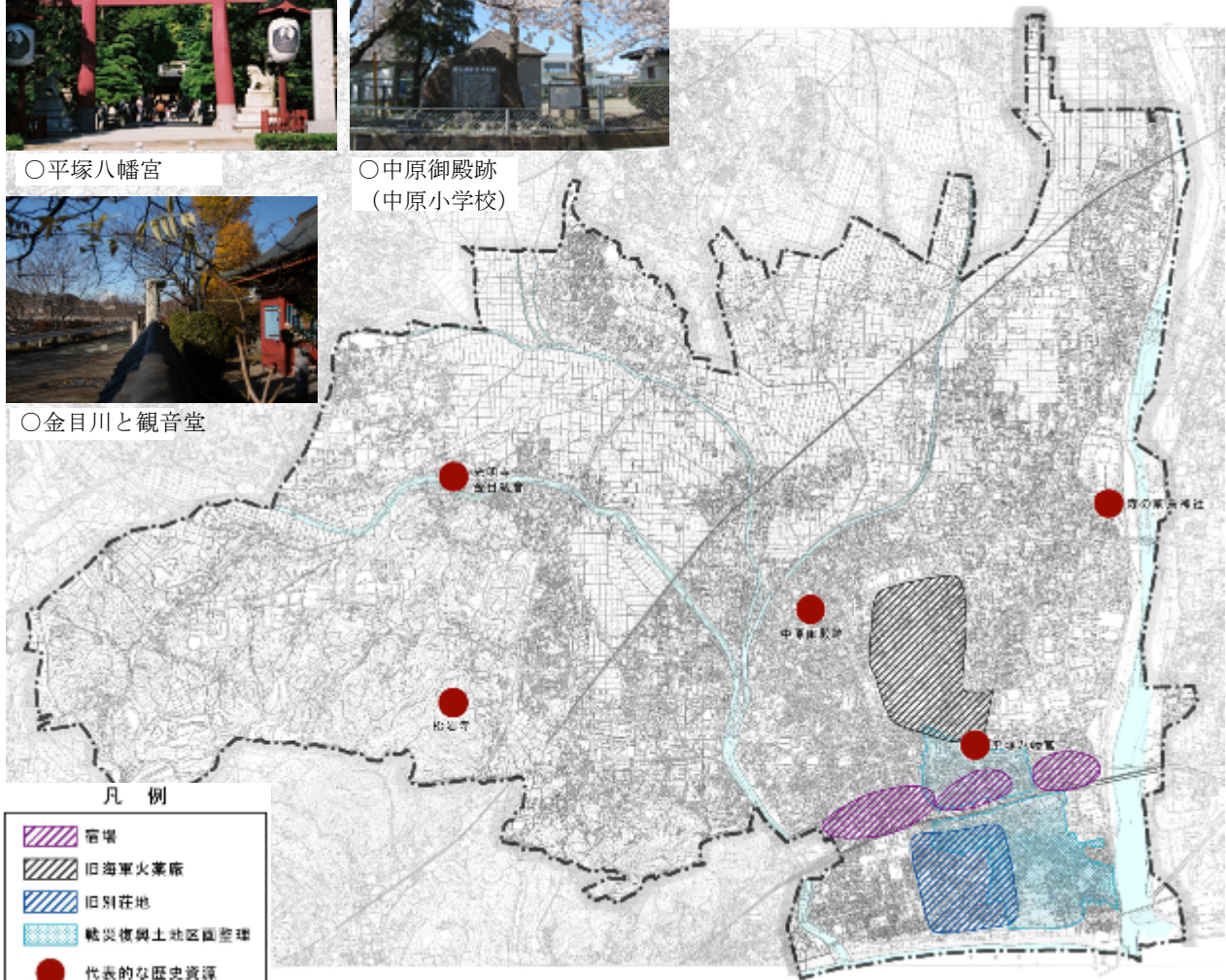
○平塚八幡宮



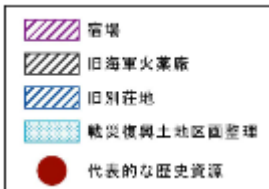
○中原御殿跡
(中原小学校)



○金目川と観音堂



凡例



景観類型

身近な歴史景観



<景観類型ごとの景観要素> 「地域の社寺や長屋門などの歴史資源」、「近代遺産」

<特性と課題>

- ・ 市内の各地には、地域で大切にされてきた寺社や長屋門、歴史的建造物など、地域生活と密接に係わる身近な歴史資源が点在し、地域の個性を特徴付ける景観を創出しています。
- ・ 平塚宿の賑わいを受け継ぐ中心商業地、明治期からの別荘地の面影を残す住宅地、火薬廠跡に集積する工場や公共施設群、戦災復興等の土地区画整理事業により基盤が整えられた街路など、市街地に残る平塚市の成り立ちを今に伝える都市の記憶を保全・継承していくことが大切です。

<状況図>



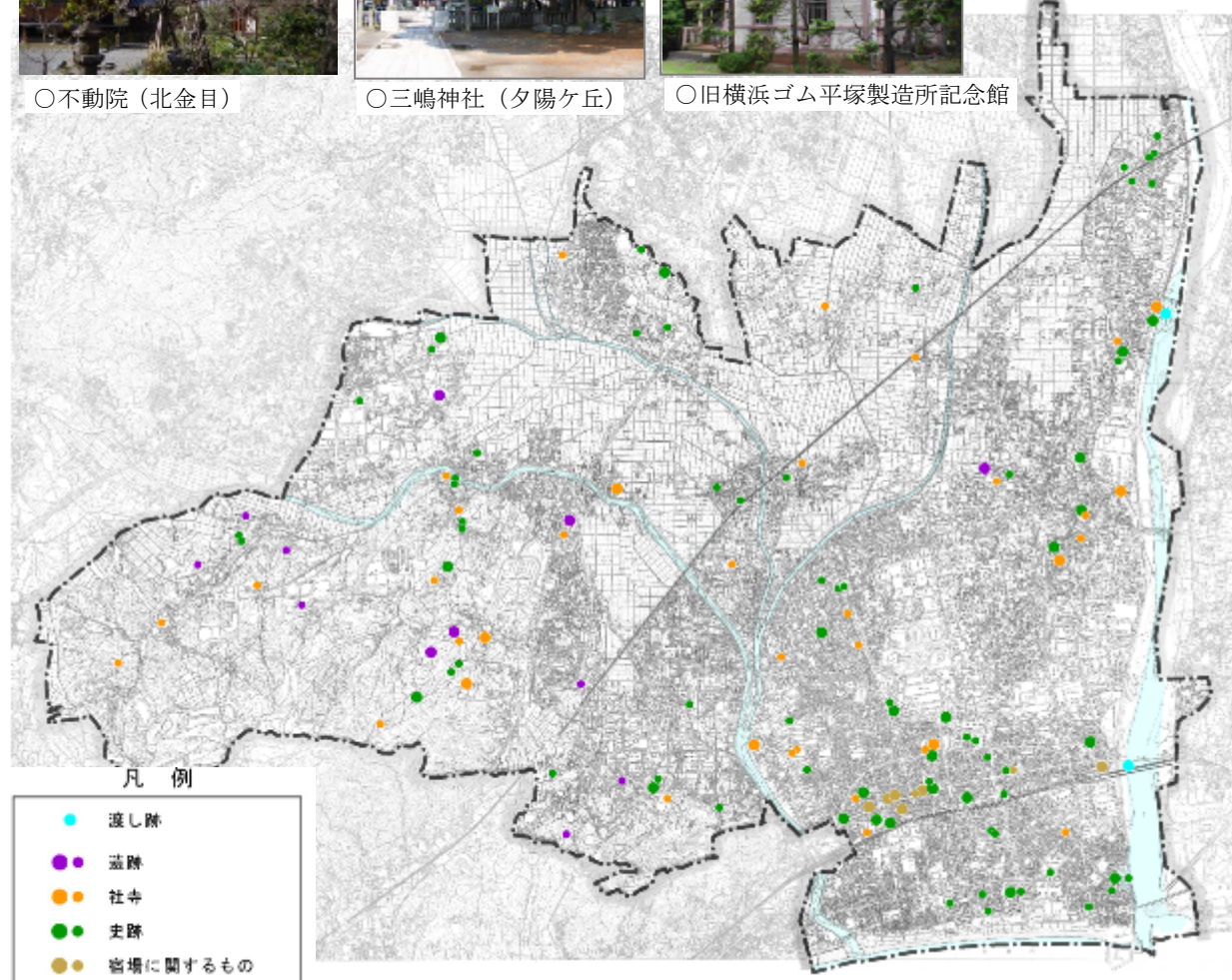
○不動院（北金目）



○三嶋神社（夕陽ヶ丘）



○旧横浜ゴム平塚製造所記念館





<景観類型ごとの景観要素> 「旧別荘地」、「旧市街地（戦災復興）」、「新興市街地」、「集合住宅地」、「一般的な住宅地」

<特性と課題>

- ・ 戦災復興等の土地区画整理事業により基盤が整えられた旧市街地やかつての佇まいを残す落ち着いた旧別荘地、新たな風景を創出する新興住宅地、地域の風景に溶け込んだ集合住宅地、さらに旧集落など、多様な住宅地景観が形成されています。
- ・ また、生垣化やガーデニング、地域の美化活動など、地域住民の自主的な取り組みによって、潤いのあるまちなみを随所で垣間見ることができます。
- ・ 一方、周辺から突出した高さや色彩の建築物など、住宅景観と調和しない要因が生じています。

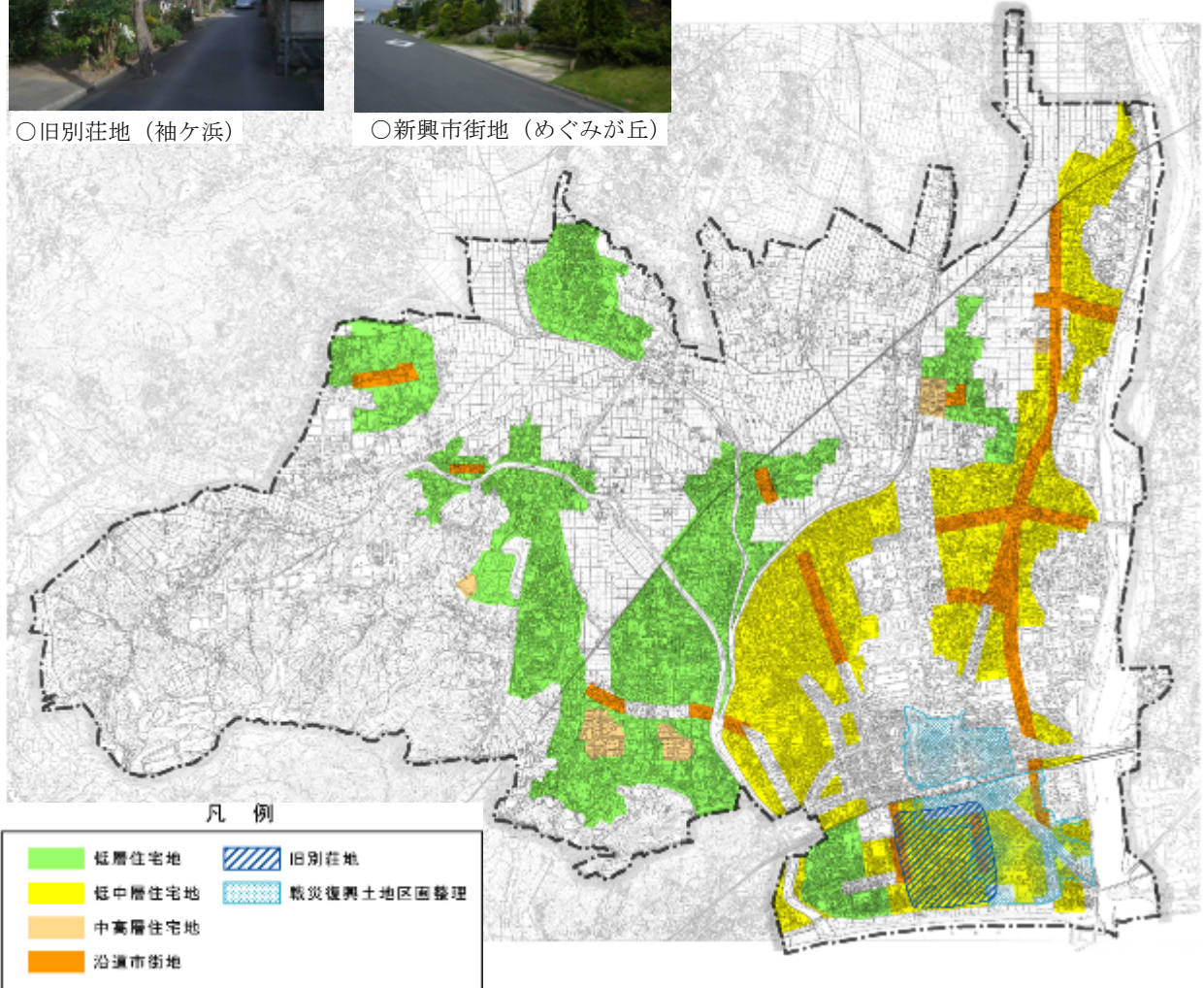
<状況図>



○旧別荘地（袖ヶ浜）



○新興市街地（めぐみが丘）



景観類型

工業地景観



<景観類型ごとの景観要素> 「相模川沿いの工業地」、「幹線沿いの工業地」、
「市街地に点在する工業地」

<特性と課題>

- ・ 火薬廠跡や相模川沿いに集積する工場群をはじめ、市街地に点在する工業地が創り出す工業地景観が、平塚市の景観の特徴の一つとなっています。
- ・ 市内では、塀の生垣化や敷地内の緑化に積極的に取り組む工場や事業所が増加しています。
- ・ 地域に親しみや、潤いを与える工業地景観づくりの一層の取り組みが求められています。

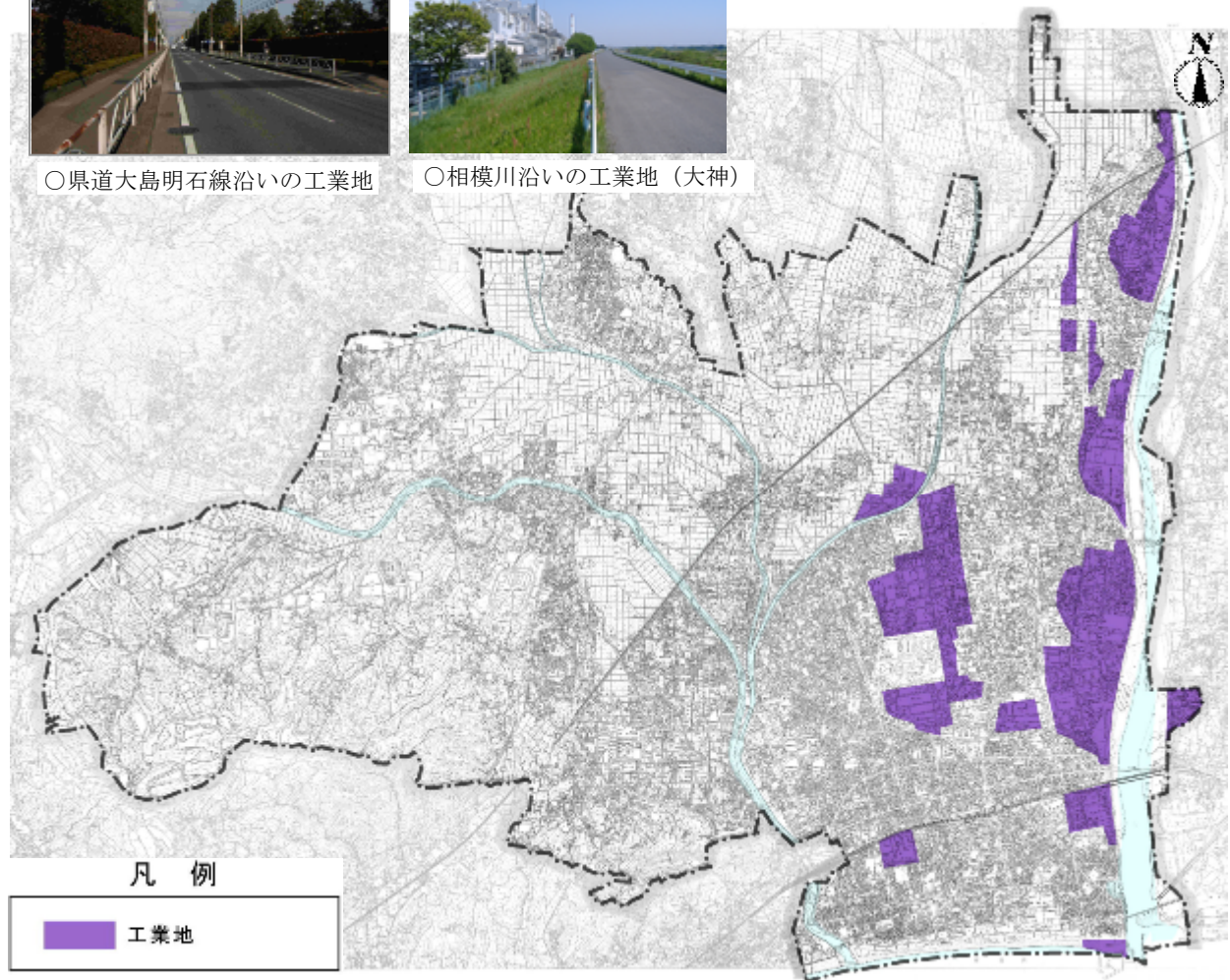
<状況図>



○県道大島明石線沿いの工業地



○相模川沿いの工業地（大神）





<景観類型ごとの景観要素> 「平塚駅周辺中心商業地」、「ショッピングモール」、「北口駅前広場」、「南口駅前広場」、「中心商業地の中の公園」、「幹線沿いの店舗群」、「地域商店街」

<特性と課題>

- ・ 平塚駅周辺の中心商業地をはじめ、幹線道路沿いの商業地や日々の暮らしを支える地域の商店街など、多様な個性ある商業地景観が形成されています。
- ・ 特に駅前広場は、人々を迎える玄関口として、駅北口は賑わいと活気のある景観を、駅南口は落ち着きと潤いある景観を創出しています。
- ・ 一方、周辺と調和しない建築物や屋外広告物、電柱や電線類、放置自転車など、商業地景観と調和しない要因が生じている。特に駅前は、平塚の玄関口にふさわしい景観づくりが求められています。

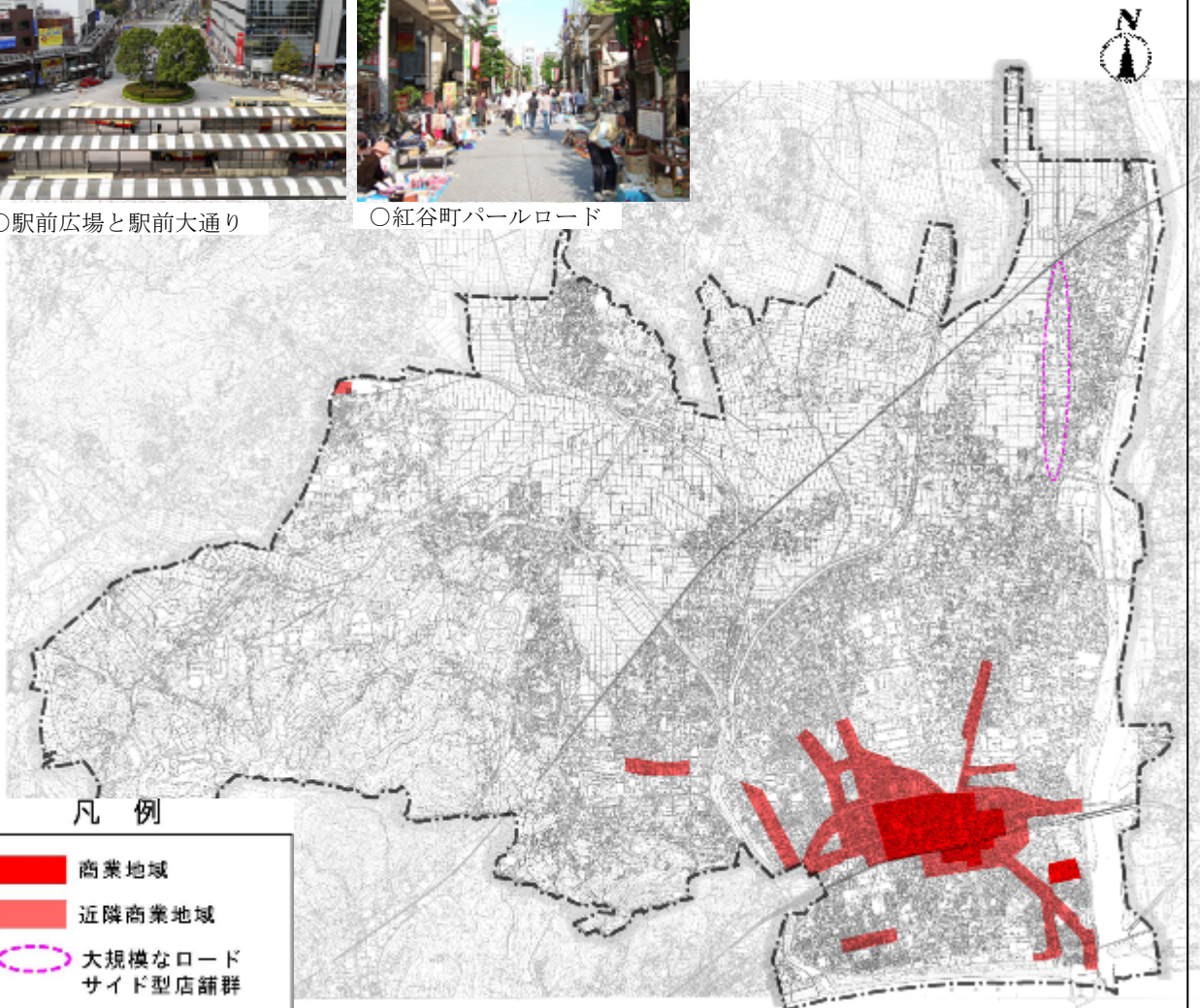
<状況図>



○駅前広場と駅前大通り



○紅谷町パールロード



凡 例

- 商業地域
- 近隣商業地域
- 大規模なロードサイド型店舗群

景観類型

公共施設景観



<景観類型ごとの景観要素> 「市役所周辺公共施設群」、「総合公園」、「大規模な公共施設」、「小中高校、大学など文教施設」、「公民館などの地域公共施設」、「公園・ポケットパーク」

<特性と課題>

- ・ 市役所などの官公署や、美術館、図書館などの文化施設が集まる地域は、市の顔として、風格あるシンボル性の高い景観を創り出しています。
- ・ また、小中学校や公民館などの地域活動の拠点となる公共施設は、地域の顔として親しまれる景観を、市街地などに点在する公園やポケットパークは、市民に愛される憩いと安らぎの景観を創り出しています。
- ・ 公共施設は、地域の先導的な役割を担う景観的な配慮が要求される空間といえます。

<状況図>

凡例

| | |
|---|---------|
|  | 公共施設群 |
|  | 大学キャンパス |
|  | 平塚市総合公園 |
|  | 小学校 |
|  | 中学校 |
|  | 高等学校 |
|  | 大学 |
|  | 養護学校など |
|  | 公民館 |



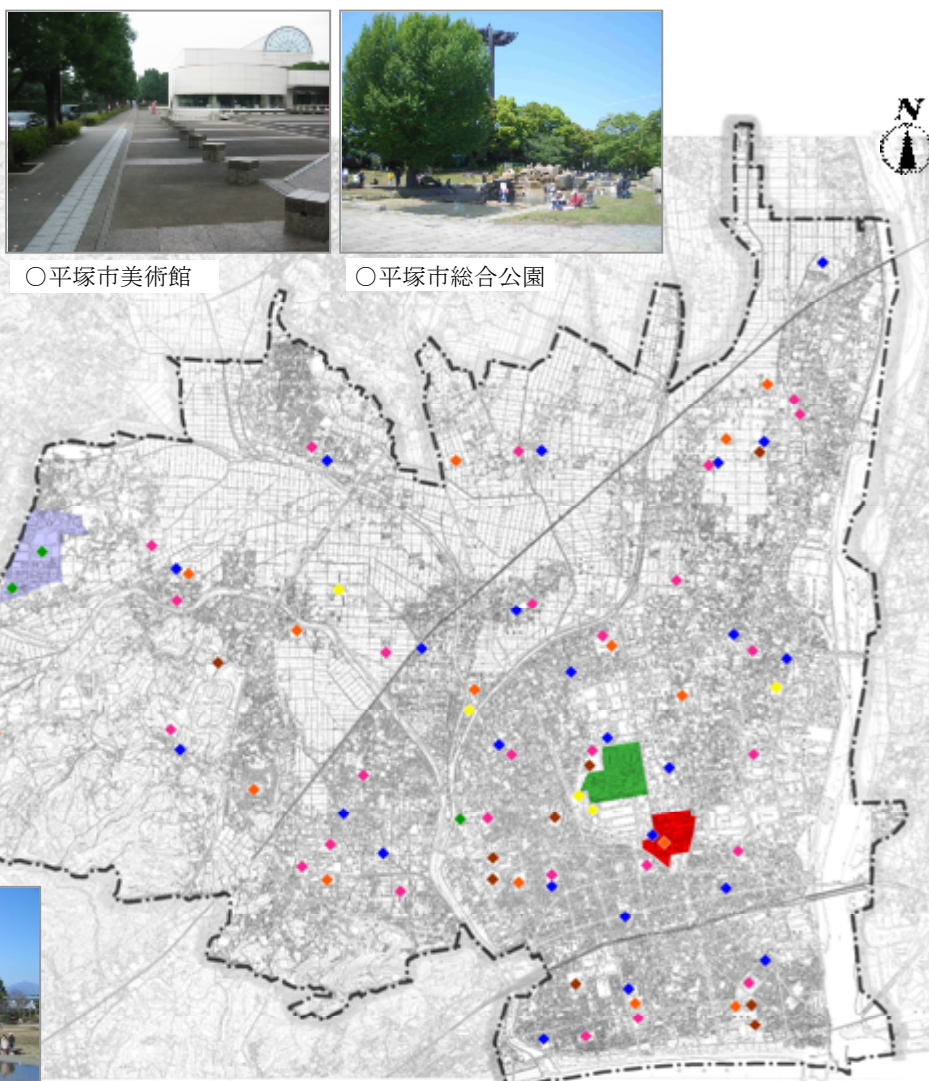
○平塚市美術館



○平塚市総合公園



○なでしこ公園（撫子原）



景観類型

道路景観



＜景観類型ごとの景観要素＞ 「国道や幹線道路」、「駅前大通り（フェスタロード）」、「なぎさプロムナード」、「シンボル道路」、「コミュニティ道路」、「生活道路」、「橋」、「相模川の橋上」

＜特性と課題＞

- ・ 国道1号をはじめ、海岸沿いを通る国道134号、中心市街地から北へ伸びる国道129号、さらに市内から隣接市町に向かう県道など、多様な幹線道路の道路景観が広がっています。
- ・ 市街地の骨格を形成する道路には、フェスタロード（駅前大通り）やなぎさプロムナードといった愛称がつけられ、親しまれています。
- ・ さらに、コミュニティ道路や通学路をはじめとする生活道路では、市民生活と密接に係わる道路景観を見ることができます。
- ・ 一方、幹線道路沿いでは、周辺と調和しない建築物や屋外広告物、電柱や電線類、放置自転車など、道路景観と調和しない要因が生じています。

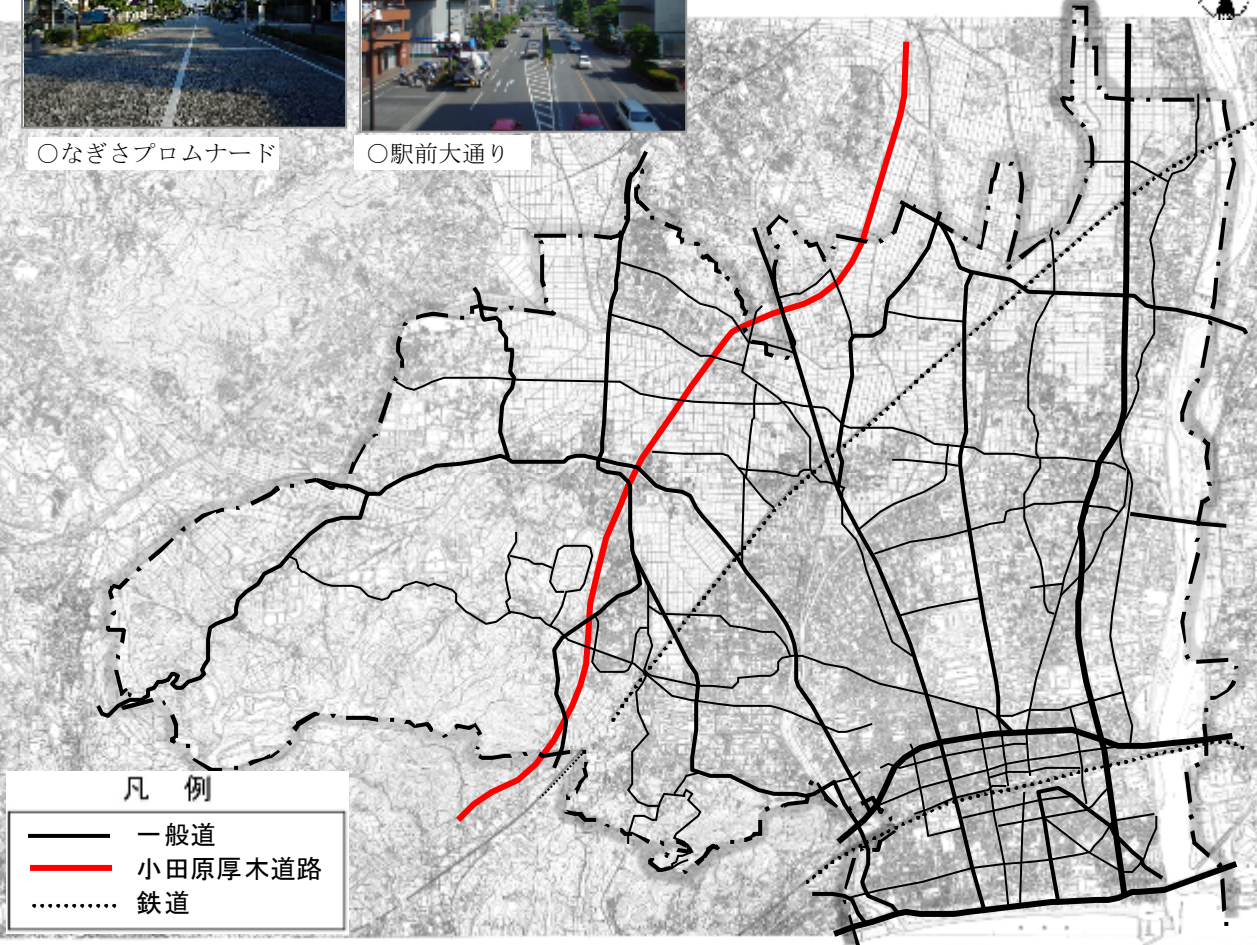
＜状況図＞



○なぎさプロムナード



○駅前大通り



景観類型

鉄道景観



＜景観類型ごとの景観要素＞ 「東海道本線」、「東海道新幹線」、
「車窓（新幹線からの風景、東海道本線からの風景）」

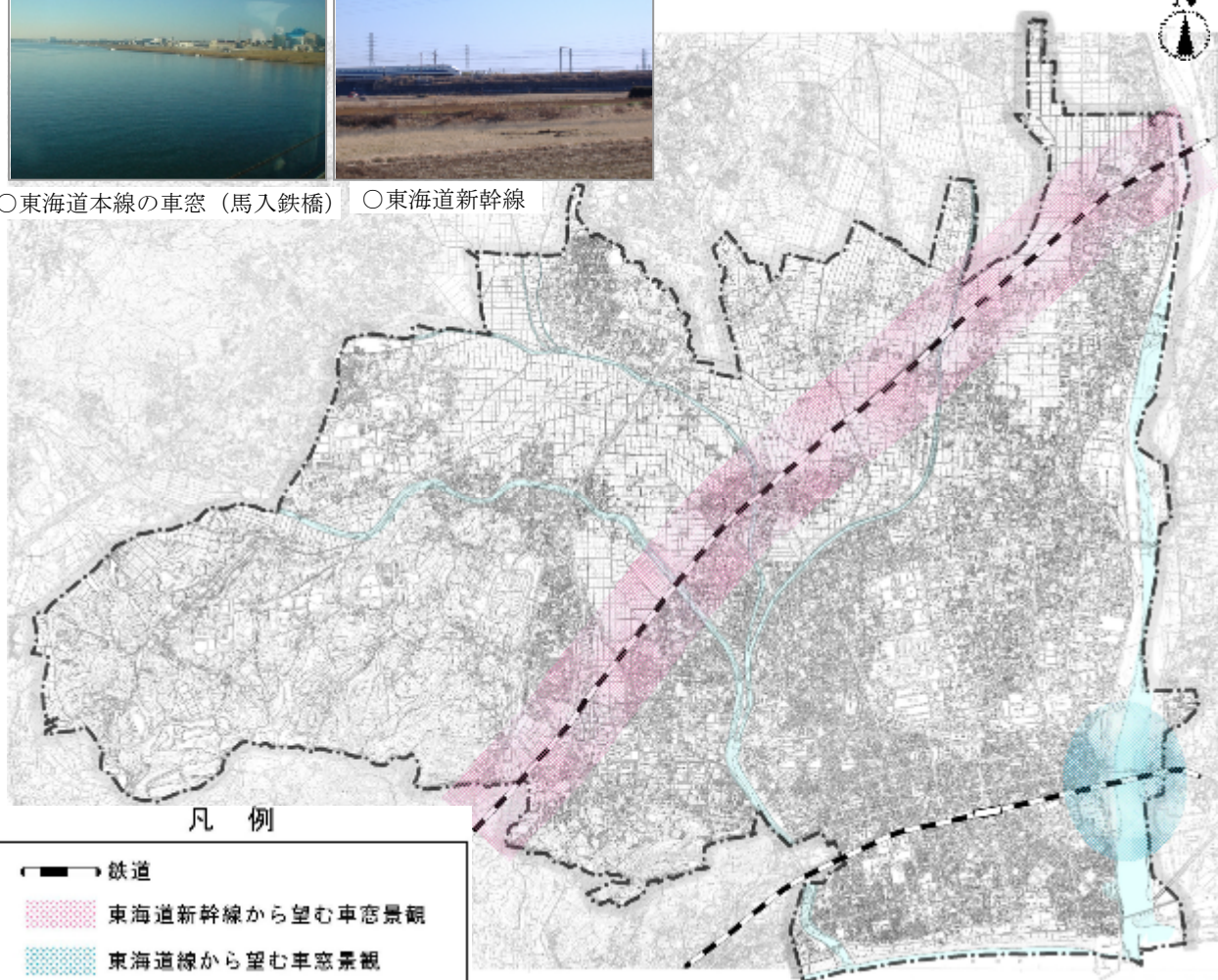
＜特性と課題＞

- ・ 東海道本線から望む車窓景観は、平塚市を印象付ける景観としての役割を担い、特に茅ヶ崎市側から相模川を渡り平塚市に入る際の車窓景観は、平塚市の顔として位置付けることができます。
- ・ また、東海道新幹線からの車窓景観は、のびやかに広がる田園景観や富士山をはじめとした周辺の高々への眺望など、平塚市を印象付ける景観としての役割を担っています。また、田園部を疾走する新幹線の車体と沿線にのびやかに広がる田園景観との対比は、動と静のダイナミックな景観を演出しています。
- ・ 一方、鉄道沿線の大規模な屋外広告物など、周辺の景観と調和しない要因が生じています。

＜状況図＞



○東海道本線の車窓（馬入鉄橋） ○東海道新幹線





<景観類型ごとの景観要素> 「日々の暮らしの景観」、「七夕まつり景観」、
「地域の祭事やイベント」、「夜の景観」、「自転車」、「美化活動」

<特性と課題>

- ・ 市内の住宅地では、花の咲く庭づくり、フラワーポットの設置など、日々の暮らしの中で創られていく景観が育まれています。
- ・ また、四季折々の移ろいの中で、七夕まつりや地域ごとの祭事・イベントなど、地域に暮らす人々の活動が創り出す、季節感のある豊かな表情を持った暮らしの景観も受け継がれています。
- ・ 快適な自転車空間、温かみを感じる街明かり、清潔なまちなみは、安心・安全な暮らしの景観をつかさどる貴重な要素です。



○庭づくり



○七夕まつり



○鈴川の鯉のぼり



○市民平和のタベ



○金目川沿いのサイクリングロード



○違反貼札の除却キャンペーン

景観類型

ゆとりの景観



＜景観類型ごとの景観要素＞ 「広告物」、「ひらつかの色」、「ひらつかの音」、
「ひらつかの香り」、「ひらつかの花」、「パブリックアート」、
「公共デザイン」、「平塚八景」

＜特性と課題＞

- ・ 周辺と調和した、あるいは周辺の魅力を高めるデザインの広告物や公共サイン、パブリックアートなどの景観要素は、まちなみにアクセントを与え、ほっと一息つくことのできる、ゆとりの景観を創り出しています。
- ・ まちの中の色づかい、音色、香りなど、五感で感じる心地よさが、ゆとりの景観を際立たせる大切な要素となっています。
- ・ また、カワセミやシラサギ、ホタルなどの野鳥や昆虫が身近に見られる風景は、平塚市の魅力を高めるゆとりの景観の一つとして、大切に次世代に継承していくことが求められています。



○馬入のお花畑



○花火の音



○人魚の像（平塚駅南口）



○漁港の壁画アート



○蛍の群翔



○しらさぎ